



大銀杏

学校教育目標「やさしく かしく すこやかに」

八生小学校だより
3月(学年末)号

令和8年3月24日発行

1年間ありがとうございました

校長 佐藤 理恵子

三月十三日、七名の六年生が晴れやかに八生小学校を巣立っていきました。彼らの歩みを思い起こせば、その始まりは新型コロナウイルス感染症による学校一斉休校という、前代未聞の事態の中にありました。正式な学校生活が始まったのは六月に入ってからで、マスク着用が必須となり、友達と密接して受ける授業や、のびのびとした外遊びさえも制限される日々。そんな異例の六年間を、彼らは懸命に駆け抜けてきました。そんな卒業生に卒業式では、在校生が卒業生へ感謝の気持ちを精一杯伝える姿が非常に印象的でした。私は式辞の中で、卒業生だけでなく在校生にも贈りたい「三つの言葉」を伝えました。

- 一、自ら考え、行動する。
- 二、あきらめない。
- 三、感謝の気持ちを忘れない。 です。

四月からはそれぞれ一つ学年が上がります。今年よりも来年は、自分で考えることをさらに増やしていきましょう。たとえ困難に直面しても「あきらめない」姿勢が、必ず「できる」という自信に繋がります。そして、今ある生活は決して「当たり前」ではないということに感謝し、そばにいる友達や家族を大切に過ごしてほしいと願っています。

この一年間、「地域と共にある学校」として、「子供・保護者・地域・教師、みんなが笑顔の学校」を目指してまいりました。保護者の皆様には、学校行事や日々の登下校の見守り、PTA活動等、多大なるご協力をいただきました。また地域の方々にも、放課後子ども教室や稲作体験など、温かい見守りの中で子供たちを育てていただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。今後も皆様と一体となって、子供たちの成長を支えていければ幸いです。本校の教育活動にご理解・ご協力ありがとうございました。

卒業式

卒業式では、1～5年生も式に参加しました。卒業生は、一人一人が卒業証書を受け取ると自分の将来の夢を伝えることができました。「別れの言葉」では、卒業生も在校生も気持ちを込めて歌や言葉を送ることができました。



スクールガードさんへ感謝を伝える会

いつもお世話になっているスクールガードの〇〇さんと〇〇さんに卒業生が感謝の気持ちを伝えました。毎日、子供たちの安全のために登校を見守ってくださり、子供たちが安心して学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。



修了式

修了式では、「今年度ががんばったこと」を各学年の代表児童が発表しました。これまでの努力や成果、そして次の目標などを全校のみんなに伝えることができました。



お知らせ

- 4月7日(火)は登校後、昇降口で上履きに履き替えたら体育館に移動となります。
- 本日通知表を配付しました。通知表の文書を全て取り出して新学期になりましたら、ファイルだけを学校へ返却してください。4月7日(火)の子供たちの持ち物です。
- 令和8年度は日課(時間割)を変更することもあります。その場合、下校時刻が今年度と異なってきますので、「下校時刻のお知らせ」の文書の確認をお願いします。